2026年11月6日　No.1501

A weekly letter

A DAY



株式会社　上坂経営センター
TEL　0776-36-8180
FAX　0776-36-8245
URL　https://www.uesaka.ne.jp
Mail　uesaka-t@mitene.or.jp

論説主幹　公認会計士　上坂朋宏

■1501号。“人間”を信じて、また一歩！！

先週、ADAYは1500号を迎えることができました。多くの方から、お祝いの言葉や励ましの言葉をいただきました。32年間、毎週書き続けてきたことを褒めてくださる方、これまでのADAYの言葉が心に残っていると言ってくださる方、そして2000号まで頑張ってくださいと、次の目標まで与えてくださる方もいらっしゃいました。

上坂会計グループのドリーマーたちからも、温かな寄せ書きをいただきました。とてもありがたいことで、心から感謝しています。しかし、1500号を迎えたからといって、何かが大きく変わるわけではないんです。今週も金曜日がやってきて、ADAYを書いています。笑

考えてみれば、人生も同じなのかもしれないな～なんて思ったりもしています。そのような繰り返しの中で、どのような幸せをみつけるのか？それもまた、人生なんだろうと思います。

大きな節目は、重要だと思うのです。しかし、人生をつくっているのは、その節目ではなく、**その翌日から始まる何気ない日々の積み重ね**だと思います。1500号という節目を越え、また新しい一歩を踏み出すことに、今、少しばかりの喜びを感じています。

■民主主義は、まだ死んでいない！！

今週は何と言っても、トランプ氏率いる共和党の中間選挙での大敗でしょう。トランプ大統領率いる共和党は大敗し、民主党が上下両院の多数派を奪還しました。ADAYでも書いてきましたが、トランプ大統領の強引とも思える政治手法、世界各国への関税政策、そして対立を深める政治のあり方を見ていると、アメリカの民主主義は一体どうなってしまうのだろうかと感じることもありました。いや、まだ、2年間は大統領なので、今もあります。

ところが、今回の選挙では、多くの国民が投票によって自らの意思を示してくれました。私は、この結果を見て、少しほっとしました。**「民主主義は、まだ死んでいない」**

そう感じました。もちろん、民主党が勝利したから民主主義が正しいということではないですよね。共和党が勝つことも、民主党が勝つことも、民主主義の結果です。

大切なのは、**どれほど強大な権力を持つ人であっても、国民がそのあり方を問い直し、選挙を通じて政治の方向を変えることができるということ**です。民主主義とは、決して間違わない仕組みではないと思います。むしろ、間違えることを前提として、それを自ら修正していく仕組みなのだと思います。そして、**その仕組みを支えているのは、一人ひとりの人間が自分の頭で考え、自分の意思で判断するという行為**です。

ただ、選挙で政権に厳しい審判が下されたからといって、民主主義の問題がすべて解決したわけでもありません。**対立や分断は残っています。**選挙で示された民意が尊重され、異なる意見を持つ人々が共に社会をつくっていけるかどうか。民主主義の真価が問われるのは、むしろこれからだと思います。

それでも私は、人間の持つ、自らを省み、過ちを正そうとする力に希望を感じたのです。そういう意味では、この選挙の結果は、民主主義は生きているということと、アメリカ国民の正常な判断力があったからではと感じています。

■AIが進化するほど、人間とは何かを考える！！

世の中に目を向けると、今、私たちは歴史的な転換点に立っているように感じます。

その一つが、**生成AIの進化**です。

ほんの数年前までは、AIがこれほど文章を書き、画像をつくり、複雑な問題を解き、人間の相談相手にまでなるとは想像していませんでした。そして、その進化は、ますます加速しています。

これまでは、知識を身につけること、正確に計算すること、論理的に考えることなどを、人間の優れた能力として評価してきました。しかし、こうした能力の多くで、AIが人間を上回る時代が始まっています。いや、ある部分では、もう上回っています。

では、**「人間の価値はどこにあるのか」**私は、この問いは、AIが進化する前から問いかけてきました。AIの進化が加速的になっている今だから、この問いは、とても意味があるように思いますが、この問いは、AI

が進化しようがしまいが、深く考えるべき問いだと思うのです。特に、長と名前がついている皆さんは、考え続ける義務があると思うのです。

AIは膨大な情報を処理し、合理的な答えを提示してくれます。しかし、**何を大切にして生きるのか、誰の幸せを願うのか、そして、どのような社会を次の世代に残したいのか。**こうした問いに対して、答えを出すことはできるようになっていますが、その責任を引き受けてはくれません。また、**人の悲しみに心を痛めること。誰かの喜びを自分のことのように喜ぶこと。間違いを認め、考えを改めること。そして、自分の利益だけでなく、誰かのために行動すること。**こうした人間らしさの中に、これからますます大切になる価値があるように思います。そして、そこにこそ、人間の価値があるのです。

AIは、言葉はかけてはくれますが、心からではない。心はないのですから。**AIが賢くなればなるほど、人間は、もっと人間らしくならなければならない。つまり、その価値を高めていかなければならない。**そんな時代が始まっているのだと思います。

■“人間”を信じるということ

考えてみると、AIの進化とアメリカの中間選挙。一見、まったく関係のない二つの出来事ですが、共通するものがあるように思うのです。それは、**人間が自ら考え、判断することの大切さ**です。AIがどれほど優秀になっても、AIの示す答えをそのまま受け入れるだけでは、人間の成長はありません。また、どれほど強い指導者が現れても、その言葉に従うだけでは、健全な社会は生まれないのです。

自分の頭で考えること。そして、他人の意見に耳を傾け、自分の考えが間違っていれば、素直に改めること。実は、これこそが、人間として成長していくための基本だと思いますし、そのためには、**まずは自分自身を信じること。そして相手も信じること**が、重要だと思います。**自分も相手も、“人間”なのですから。**

そして、以前から、**人が成長するためには、旅をすること、読書をすること、そして人の話を聞くこと**が大切だとお話ししてきました。何度も書いていますが、

旅は、自分の世界を広げてくれます。

読書は、自分の内面を深めてくれます。

そして、人の話を聞くことは、自分を正す機会を与えてくれます。

つまり、**その過程そのものが、自分を信じることや相手を信じることにつながっていく**と思うのです。AIによって知識を得ることが容易になった今だからこそ、**実際に旅をし、人と出会い、相手の言葉に耳を傾け、自分の心で何かを感じることの価値は、ますます大きくなっていく**のではないでしょうか。

■1501号から、また始めます

私は書くことによって、何かを皆様に伝えてきたつもりでした。しかし、最近になって感じるのは、書くことによって、一番多くのことを教えられ、変えられてきたのは、私自身だったということなのです。世の中の出来事を見て、なぜだろうと考える。自分とは違う意見に触れ、もう一度考えてみる。そして、自分の言葉にして書いてみる。この繰り返しが、少しずつですが、私自身を成長させてくれたように思います。

もしかすると、**ADAYを書き続けることが、私にとって、人間らしさを磨き続けるための営みだったのかもしれません。**

これからは、AIの力を借りながら、しかし、最後は自分の頭で考え、自分の心で感じ、自分の言葉で伝えていきたいと思います。そして、これからも、世の中の変化に驚き、人との出会いに感動し、ときには自分の未熟さに気づきながら、少しでも成長していきたいと思います。

1500号まで書けたことに感謝し、1501号を書けることに喜びを感じています。

2000号まで、あと499号。

随分と先のようにも思いますが、32年前に第1号を書いたときには、1500号など想像もしていませんでした。

大切なのは、**遠くの目標よりも、今日という一日をどう生きるか**なのかもしれません。

人間の可能性を信じ、自分自身の可能性も信じて。1501号から、また新たな一歩を踏み出します。

これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

上坂朋宏拝